

No	所管部名	名称	関係団体名（主催者）	協働の形態	実施区分	初回実施年 (西暦)	開始日	終了日	目的	市民参加人数 (総計)	取組の効果、市民からの反響等
1	教育部	子ども広報部「びとこま」	N P O法人 樟前artyプラス	共催	毎年実施	2012	R7.5.17	R8.2.7	美術博物館の美術館活動における基本理念のひとつである「子どもの感性を育む美術館」に基づき、子どもたちの美術館全般に対する興味・関心を高めることを目指している。	180	参加者からは、「また参加したい」、「子どもと大人のディスカッションを通して子どもの成長が見られた」など一定の評価を得ている。子どもの美術館全般に対する興味・関心を高めるだけではなく、人と関わる積極性が向上するなど子どもの成長にも良い影響を与えていると考えられている。
2	総合政策部	ノーザンホースパークマラソン2026	ノーザンホースパークマラソン実行委員会	共催	毎年実施	2011	R7.5.17	R7.5.17	スポーツ振興	4,449	スポーツの振興や地域住民の参画、また多くの参加者等により地域活性化に寄与している
3	産業経済部	令和7年度 苫小牧市中小企業創業サポート事業	苫小牧商工会議所、苫小牧市男女平等参画推進センター	共催	毎年実施	2015	R7.6.21	R7.7.26	創業サポート事業は、苫小牧市、苫小牧商工会議所及び苫小牧市男女平等参画推進センターにおいて開催される創業セミナーの受講完了者に、創業等に要する経費の一部を補助することにより、「苫小牧市中小企業振興条例」を推進し、地域経済の発展、経営基盤の強化、雇用の確保を図ることを目的とする。	71	本事業のセミナー参加人数は延べ71人、補助金の交付申請は23人から申請されました。その結果、令和7年度内で実際に市内で創業し、補助金の交付決定に至ったのは22人となっており、地域経済の発展、経営基盤の強化、雇用の確保に寄与したものと捉えています。
4	こども未来部	リーダー養成事業	苫小牧市子ども会育成連絡協議会	共催	毎年実施	1977	R7.6.28	R8.3.8	様々な体験活動から積極的な社会参加するたくましい青少年を育成	267	子どもたちの育成について、各地域の子ども会を育成する役割を担っている苫小牧市子ども会育成連絡協議会と協働して計画及び実施することにより、子どもたちに多くの学習機会を提供することができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展につながっていると考える。
5	産業経済部	Future Founders "KOSEN Edition" 2025	苫小牧工業高等専門学校	共催	単年度実施	2023	R7.7.12	R7.7.13	本校学生だけを対象としたプログラムを実施し、それぞれのもつ知識や技術を組み合わせて社会課題解決に取り組む場を提供することを目的とする。	不明	
6	産業経済部	技術セミナー「金属3Dプリンターが切り開く生産技術の未来」	日本鋳造工学会北海道支部	共催	単年度実施	2025	R7.7.18	R7.7.18	苫小牧地域の製造関連企業に対する人材育成を実施するため	5	金属3Dプリンターに関する技術は、苫小牧地域の製造業などにとって、今後の新たな生産技術として非常に有用であり、技術力向上に寄与できた。
7	総合政策部	2025年 苫小牧民報杯 第37回苫小牧ハスケットライオン大会 n勇弘 実行委員会	苫小牧民報杯 第37回苫小牧ハスケットライオン大会 n勇弘 実行委員会	共催	毎年実施	不明	R7.7.27	R7.7.27	スポーツ振興	307	スポーツ振興や地域住民の参画、また多くの参加者等により地域活性化に寄与している。
8	教育部	第33回とましん子供ものづくり教室「不思議な貯金箱を作ろう」	苫小牧信用金庫/苫小牧市科学センター	共催	単年度実施	2025	R7.8.21	R7.8.21	工作体験を通じて子供たちの科学への好奇心やものづくりへの関心を高める	32	参加者全員が工作物を完成させ不思議な体験させることができた
9	総合政策部	第26回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会	大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会実行委員会	共催	毎年実施	2000	R7.8.26	R7.9.7	国内の大学アイスホッケーチームの交流	597	・全国各地から大学のアイスホッケー部が集うことで、氷どまこまいとしてのブランド力向上。 ・宿泊や飲食による地域経済効果
10	教育部	苫小牧市小・中学生のための礼習親子しおさいコンサート	株式会社北海道新聞社、株式会社苫小牧民報社	共催	毎年実施	2009	R7.8.30	R7.8.30	本市の小・中学生になまのオーケストラ演奏を肌で感じてもらい、豊かな感性を育むことを目的とする。 なお、令和7年度については、苫小牧市民会館が閉館となることから、定住自立圏構想協定を締結している東胆振4町（白老町、厚真町、安平町、むかわ町）の小・中学生を招待する。	634	申込時点899名の入場希望者があったが、当日は小雨が降る中の開催となったため、634名の来場となっている。 今年度は、有名なジブリの曲を演奏するなど、観客が親しみやすい工夫がなされていた。指揮者体験コーナーも好評であった。アンコールとして、サプライズで「みんなのたまごポップ」を演奏した。壇上にとまチョップが登場しダンスをすすと、観客席から曲にあわせての手拍子などが見られた。全体として、観客の方々は、今回もフルオーケストラの演奏を十分に楽しんだ様子であった。このような反応を得たことから本コンサートは、今年度も十分な成果をあげたものと判断する。
11	市民生活部	消費生活講演会	苫小牧消費者協会	共催	毎年実施	不明	R7.9.13	R7.9.13	消費者自身が、その時代に即応した豊かな暮らしを創造していく機会と暮らして役立つ知識や情報を提供し、消費者意識の高揚を図る。	45	専門家から様々な情報や基礎知識を得ることができ、参加者からも大変勉強になったとの感想をいただいている。
12	産業経済部	技術者研修会「生産現場に活かす品質管理技法」	北海道職業能力開発大学校	共催	単年度実施	2015	R7.9.30	R7.10.1	苫小牧地域の製造関連企業に対する人材育成を実施するため	5	セミナーで取得できる技術は苫小牧地域の製造業などにとって非常に有用であり、地域企業の技術力向上に寄与できた。
13	産業経済部	2025年度サテライトゼミ苫小牧「社員を守る心の健康づくり講座」	独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部、苫小牧商工会議所	共催	毎年実施	2019	R7.10.2	R7.10.3	中小企業が限られた人材を“戦力”に育てるための視点や手法を理解し、強い組織を作り上げるための人材育成の進め方について演習や事例を交えて学んだ上で、自社の人材育成プランの立案に取り組む。	7	研修後アンケートの結果、100%がこの研修が自社の経営や自身の仕事に「非常に役に立つ」「役に立つ」、研修の全体的な印象が「非常に良かった」「良かった」と回答している。
14	産業経済部	自動車の電動化に向けた競争力強化セミナー	北海道経済産業局、北海道機械工業会	共催	単年度実施	2022	R7.10.10	R7.10.11	自動車産業のサプライヤーが集積する苫小牧地区にて自動車のE.V化の動きに関する情報提供を行うため	32	バッテリー等に関する情報提供のほか、実物の展示もあり、苫小牧市内企業にとって、有益なものであった。
15	教育部	令和7年度 苫小牧市民塾	苫小牧市女性団体連絡協議会	共催	毎年実施	2004	R7.10.15	R7.10.15	生涯にわたって心豊かに生きがいのある人生をおくるために、「生きるとは学ぶこと」の視点から、生涯学習や今日の課題に関心のある市民の方々に学習の機会を提供する。	42	講演内容は、課題に関する知識を教わるだけでなく、実際にトロミ材を使用して飲み込みの体験、予防対策として呼吸方法、姿勢などの話があり、参加者は熱心に聞き入り、市民からも楽しげな声があふいた。
16	産業経済部	Future Founders "KOSEN Edition" 2025 Autumn	苫小牧工業高等専門学校	共催	単年度実施	2023	R7.11.7	R7.11.8	高専生と苫小牧南高校の生徒を対象とする起業体験プログラムを実施し、学校の枠を超えた交流を促すとともに、メンターとなる若手経営者との交流を通じて、大いに刺激を受け、それぞれのもつ知識や技術を組み合わせて社会課題解決に取り組む場を提供することを目的とする。	不明	
17	産業経済部	市民技能体験教室「箱づくり体験」	一般社団法人苫小牧地域職業訓練センター	共催	毎年実施	1987	R7.11.8	R7.11.8	市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。	13	教室終了後アンケートの結果、参加者の100%が「大変満足」「満足」と回答している。
18	健康福祉部	えがおの花咲く写真展in苫小牧2025	「えがおの花咲く写真展in苫小牧」実行委員会	共催	毎年実施	2017	R7.11.10	R7.11.13	介護や福祉の現場が優しい気持ちであふれていること、そこで生活する人や働く職員がともに人生をつくらせている様子を見ていただき、素敵なえがおの花が沢山咲いていることを知ってもらう。	不明	介護の現場を写真展として周知することで、市民の介護に関する関心や介護職への関心につながり、地域からの介護への理解や介護職への就労のきっかけとして寄与している。
19	産業経済部	技術者研修会「精密測定技術」	北海道職業能力開発大学校	共催	単年度実施	2015	R7.11.11	R7.11.12	苫小牧地域の製造関連企業に対する人材育成を実施するため	6	セミナーで取得できる技術は苫小牧地域の製造業などにとって非常に有用であり、地域企業の技術力向上に寄与できた。
20	産業経済部	移動工業試験場（苫小牧）	(地独) 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場	共催	単年度実施	1998	R7.11.19	R7.11.19	市内中小企業の技術力向上及び地域産業の振興発展を図ること	34	工業技術や環境技術に関する最新技術情報が提供され、苫小牧市内企業にとって、有益なものであった。
21	産業経済部	2025年度サテライトゼミ苫小牧「若手リーダー養成講座」	独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部、苫小牧商工会議所	共催	毎年実施	2019	R7.12.2	R7.12.4	中小企業が限られた人材を“戦力”に育てるための視点や手法を理解し、強い組織を作り上げるための人材育成の進め方について演習や事例を交えて学んだ上で、自社の人材育成プランの立案に取り組む。	18	研修後アンケートの結果、100%がこの研修が自社の経営や自身の仕事に「非常に役に立つ」「役に立つ」、研修の全体的な印象が「非常に良かった」「良かった」と回答している。
22	総合政策部	第56回道新杯争奪小学生アイスホッケー大会	苫小牧小学生アイスホッケー同好会連合会	共催	毎年実施	不明	R8.1.17	R8.2.7	若年層のアイスホッケー強化と層の拡大、普及を図る	114	アイスホッケーの普及、地域住民の参画による地域活性化に寄与している。
23	産業経済部	市民技能体験教室「クロス張り体験」	一般社団法人苫小牧地域職業訓練センター	共催	毎年実施	1987	R8.1.24	R8.1.24	市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。	13	教室終了後アンケートの結果、参加者の92%が「大変満足」「満足」と回答している。

No.	所管部名	名称	関係団体名（主催者）	協働の形態	実施区分	初回実施年 （西暦）	開始日	終了日	目的	市民参加人数 （総計）	取組の効果、市民からの反響等
24	産業経済部	市民技能体験教室「日曜大工」	一般社団法人苫小牧地域職業訓練センター	共催	毎年実施	1987	R8.2.15	R8.2.15	市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。	14	教室終了後アンケートの結果、参加者の94%が「大変満足」「満足」と回答している。
25	産業経済部	市民技能体験教室「しっくい塗り体験・タイルアート作製」	一般社団法人苫小牧地域職業訓練センター	共催	毎年実施	1987	R8.3.7	R8.3.7	市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。	7	教室終了後アンケートの結果、参加者の86%が「大変満足」「満足」と回答している。
26	産業経済部	Future Founders "KOSEN Edition" 2026 Spring	苫小牧工業高等専門学校	共催	単年度実施	2023	R8.3.21	R8.3.21	本校学生だけでなく、高校生や新入生等と一緒に、それぞれのもつ知識や技術を組み合わせて社会課題解決に取り組み場を提供することを目的とする。	不明	